

Yukio Tabuchi



たぶち・ゆきお (1905 ~ 1989)

明治 38 年、黒坂村 (現・日野町) で生まれ、東京高等師範学校 (現・筑波大学) を卒業し教職に就く。昭和 20 年に長野県安曇野に疎開し、高山蝶の生態研究・撮影に取り組む。昭和 36 年、豊科町に居を移し生涯をその地でおくる。昭和 59 年に同町の名誉町民第 1 号になり、没後、平成 2 年に田淵行男記念館が開館。年間を通じて多くの写真・自然愛好者が訪れている。日本各地の山岳写真やエッセイ集など生涯で 37 冊もの著作を発表。

長野県豊科町で展示された写真 (右) 自然の中で遊ぶ子どもたちの姿など 20 点が日野町から送られた



田淵行男の故郷を関心深く見つめる (写真 = 田淵行男記念館提供)

日本を代表する山岳写真家であり、高山蝶の研究家としても高い評価を得た鳥取県日野町出身の故・田淵行男

鳥取県日野町出身 山岳写真家 田淵行男

田淵行男が結ぶ

長野県 鳥取県

豊科町と日野町

友好の架橋

田淵行男記念館 (長野県豊科町) では、11月16日から28日までの間、山岳写真家、故・田淵行男の故郷である日野町を紹介する「望郷の黒坂村〜田淵行男故郷風景写真展〜」を開催。多くの人が田淵行男の故郷に思いをはせ、少年時代をしのびました。写真展には、日野町の写真愛好者が撮影した黒坂のまち並みなど20点が展示されました。山岳写真家が渡した長野県豊科町と日野町との「友好の架橋」は、今もしっかりと結ばれています。

日野町では、今年6月に田淵行男作品展を開催。田淵行男記念館長ほか、長野県豊科町助役、長男の田淵穂高さん、田淵行男友の会のメンバーなど多数来町し、交流が深まりました。

Yukio Akahane

田淵行男記念館

館長 赤羽行雄 さん

芽生えた交流は育つと確信

皆様方には、偉大な山岳写真家 田淵行男の業績を理解していただきまして感謝しています。「田淵行男作品展」を通じて芽生えたこの交流は、今後も育っていくものと確信しています。田淵行男の原点でもある故郷黒坂村の写真に、多くの人が思いをはせています。



根雨宿

まちかど

美術館

個々の点を結んで線に
地域活性化につながれば！。

自分たちの手で地域を盛り上げよう。町内金融機関（根雨郵便局、山陰合同銀行、島根銀行、鳥取銀行）が発起人となり、根雨地区の路地で写真、絵画などの美術品を展示する「根雨宿まちかど美術館」が、11月8日オープンしました。

今までは、金融機関がそれぞれの店内で独自に美術作品展を開いていましたが、1年前に集う機会があり「個々の点と点を線で結べば、もっと効果が期待でき、まちの活性化にもつながるのでは」と話が持ち上がり企画しました。

金融機関4社だけでは地域の活性化が図れないと考え、展示スペースがありそうな近くの商店や個人宅に声をかけました。地域の反応も「ぜひ、協力させていただきます」と好評で、全21か所でスタートしました。名称は、地域の人々にも意識を持ってほしいと賛同者にアンケートとして決定。7つの名称の中から、根雨宿まちかど美術館」が選ばれました。



商店や自宅などの窓越しに展示

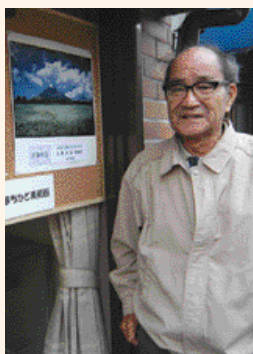
動き出す一。
住民主体の地域活性化プロジェクト。

展示場所紹介（順不同）

- ・ 風月堂
- ・ 池原和夫宅
- ・ トミヤ薬局
- ・ 平野流和紙ちぎり絵教室
- ・ 大岩酒店
- ・ 木島写真玩具店
- ・ 緒形商店
- ・ 勝瀬節雄宅
- ・ 安達手芸店
- ・ 細田商店
- ・ 法橋カメラ店
- ・ 西村ウッド工房
- ・ 窪田書店
- ・ 柴原時計店
- ・ 伊田幸美宅
- ・ 生田菓子店
- ・ 根雨郵便局
- ・ 山陰合同銀行根雨支店
- ・ 島根銀行根雨支店
- ・ 鳥取銀行根雨支店
- ・ 日野町図書館

Interview 聞く

いい企画です。自分にできることは協力したいです。地域で取り組めば、まちも元気になり、盛り上がると期待しています。



生田菓子店
生田昭光さん（根雨）

日野町をテーマにした写真コンテストなども考えたい。長く親しまれる美術館にしていきたいと思えますので、皆さんのご意見をお聞かせください。



発起人代表
根雨郵便局長 高橋 要さん